



北九州市ほたる館 開館20周年!

北九州市ほたる館は令和4年4月で、開館20周年を迎えることとなりました。これを記念し、「20周年記念展～未来につなぐ北九州市のホタル～」と題して特別展を行います。

開館当時の写真・資料の特別公開や北九州市のホタル保護の歴史についての資料等を1年を通して掲示し、紹介していきます。

これからも、北九州市ほたる館をよりよいものにしていきたいと思います。この20年に引き続き、皆様のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

3月14日 ほたる館情報
ヘイケボタル 1匹

北九州市ほたる館 開館20周年記念展
未来につなぐ北九州市のホタル
令和4年4月24日(日)～令和5年3月31日(金)

北九州市ほたる館は令和4年4月24日に開館20周年を迎えることとなりました。これを記念して北九州市のホタル保護についての歩みやほたる館の歴史について振り返ります。
主催：北九州市ほたる館・北九州市

北九州市のホタルやほたる館の歴史に関するものを特別公開!

ほたる館チーム入り多機能蛍光灯ペン

期間中先着200名の見学者に粗品をプレゼント!!

ほたる館の仲間たち



ニホンヤモリ

四肢の指の裏にある指下板(しかばん)という鱗の集まりのお陰で、ガラス面も登れる。中国では獲物を捕る動きから「壁虎」と呼ばれている。

ホタル一口メモ

飛べないホタルがいる。

実は、世界で約2000種いるホタルのうち、4分の1のホタルのメスが飛べないそうです。飛べないメスは、翅が退化して体は幼虫の形をしています。それは、飛ぶことを諦め、卵を産むことと、オスを呼ぶための発光器づくりにエネルギーを注いだ結果だそうです。

※参考文献：「ホタルの不思議な世界」サラ・ルイス著

日本では、オオマドボタルやアキマドボタルなどのマドボタル属のメスの成虫が、幼虫型をしています。

ヒメボタルのメスも、マドボタル属ではありませんが飛べません。下翅のみが退化して上翅(黒い翅)はあるので、外見上は普通のホタルと変わりません。飛ばない選択をしたのに、なぜ上翅を作ったのか不思議です。

4月のイベント

- ① ほたる館開館20周年記念展
～未来につなぐ北九州市のホタル～
4/24(日)～R5.3/31(金)
- ② 昆虫先生の出張講座①
「春の虫に親しむ」
4/16(土) 13:00～15:00
- ③ 生き物講座
「ほたる館の飼育員になってみよう!」
4/23(土)・24(日)のいずれか
両日とも 13:00～15:00

※4月3日(日)より募集開始

※中止になる場合があります。

ご了承ください。



北九州市ほたる館

住所 〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷2丁目5-1
 開館時間 9:00～17:00
 入館料 無料
 休館日 火曜日(祝日の場合はその次の平日)
 年末年始(12/29～1/3)
 HP <https://hotarukan.jimdofree.com/>
 西鉄バス45番・49番 第一熊谷町から徒歩5分
 お問い合わせは TEL 093-561-0800



ホームページ



Facebook



Instagram

